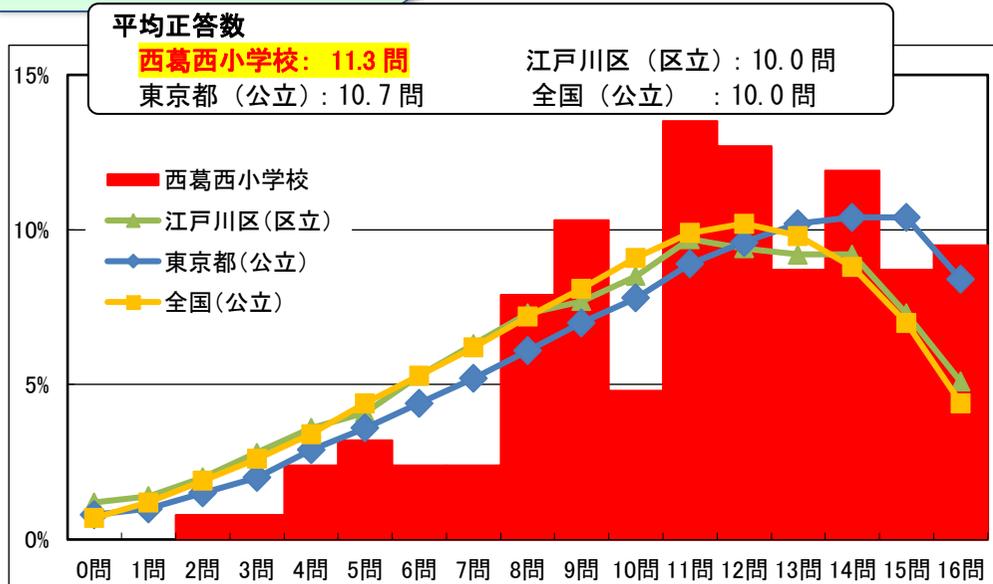
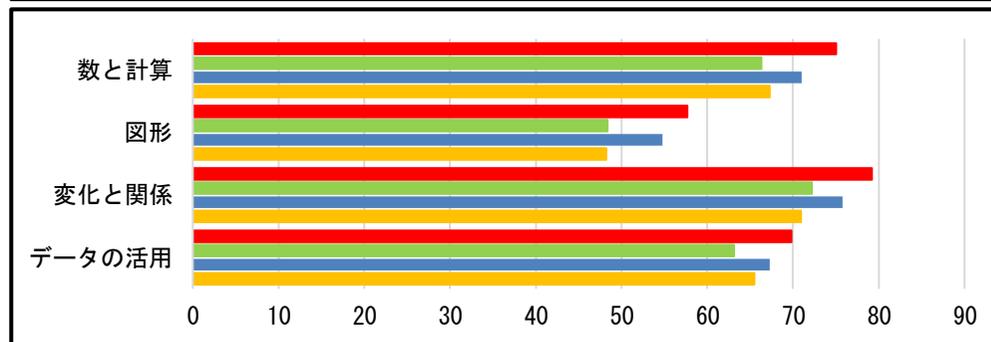
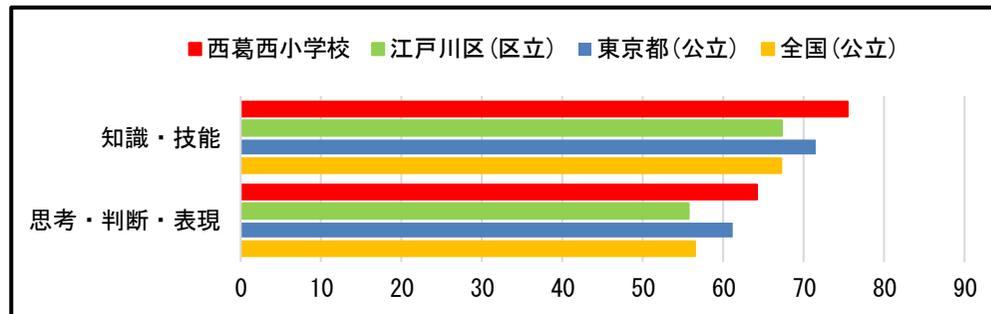


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 西葛西小学校

正答数分布



「領域別」の結果



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

算数	上位 ← → 下位			
	A層 14~16問	B層 11~13問	C層 8~10問	D層 0~7問
西葛西小学校	30.1	34.9	23.0	12.0
江戸川区(区立)	21.6	28.3	23.5	26.6
東京都(公立)	29.2	28.7	20.9	21.2
全国(公立)	20.2	29.9	24.4	25.5

【平均正答率の差】

西葛西小学校	71%
江戸川区(区立)	62%
東京都(公立)	67%
全国(公立)	62.5%
都との差	4ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

本校は、平均正答数、領域別の平均正答率が、全国・東京都・江戸川区平均よりも高い。学力上位層のA・B層が65%と多く、基礎・基本は身に付いている児童が多いといえる。ただし、「知識・技能」の正答率に対して、「思考・判断・表現」の正答率が低い。また、記述式の正答率の低さが目立った。根拠を基に理由を自分の言葉で述べたり、生活場面等に置き換えて具体的に考えたりできるような指導をしていく。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。